

平成30年度 地域志向科目「鳥取学」開講を終えて

鳥取学は、本学1年生を対象に「人と社会と自然との共生」を考察する基盤を、鳥取地域を題材として学習することによって、世界の中の日本、そして日本の中の鳥取の位置付けを理解することを目的としています。初回オリエンテーションで環境学部吉永教授は「鳥取には鳥取の地域の自然、社会のルールがあります。その「在来知」の現在の課題を、体験を通じて発掘してください。自分で実際に見たり感じたりしながら、何も無いところから考えたことを理論として身につけていってほしい。」と学生に伝えました。全15回にわたり、地域における特徴的な事項を相互に関連付けながら、鳥取地域の自然環境と歴史文化について、複数の教員により講義が行われました。



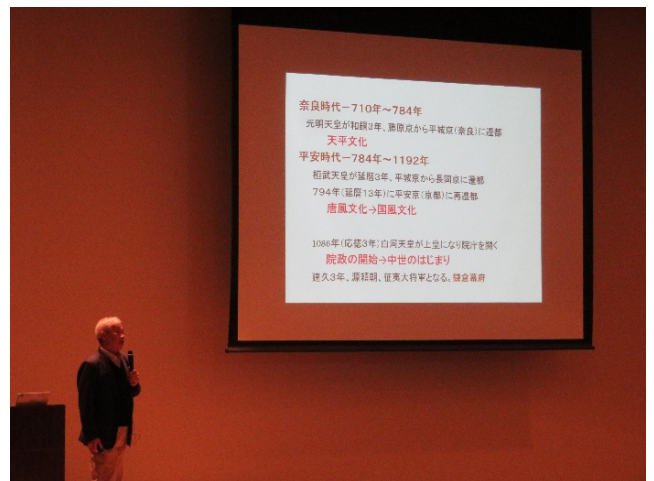
初回オリエンテーションの様子



鳥取の地質について



鳥取の動植物について



鳥取の歴史について